

# SHISEI

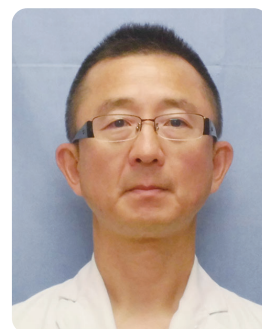
第74号 2023年12月

一般社団法人 至誠会第二病院 〒157-8550 東京都世田谷区上祖師谷5-19-1 TEL: 03-3300-0366(代表) FAX: 03-3307-6731(代表)  
編集:地域医療連携室(内線211/395) FAX:03-3307-0013(直通) URL:http://www.shiseikai-daini-hosp.jp/

## 栄養サポートチーム活動について

### 《 栄養サポートチームとは? 》

栄養サポートチーム (Nutrition Support Team (以降、NST)) は医師、看護師、栄養士、薬剤師などの専門職が1つになって患者に適切な栄養管理を行うチームです。日本では2000年ころからNST稼働施設が徐々に増加し、2004年に病院機能評価項目のなかにNSTの設立が取り上げられ、2010年の診療報酬改定によりNST加算の設立がなされました。こうした影響もあってか近年では多くの病院でNST委員会が設立され活動が行われております。



外科 佐藤 拓也

### 《 当院の栄養サポートチームについて 》

当院のNSTは2018年に院内ワーキンググループから委員会に昇格、以降その活動規模を拡大してまいりました。院内のNST介入件数の推移は2018年164件、2019年218件、2020年183件、2021年312件、2022年399件と新型コロナウイルス感染症の世界的流行が始まった2020年以外は増加傾向にあります。

#### ～活動目標～

入院患者の栄養状態の改善 (あるいは悪化の予防) につとめ、早期回復、早期退院の一助となる

#### ～活動内容～

低栄養あるいは将来的に低栄養となることが懸念される患者様に対して早期の栄養学的介入を行う。具体的には週1回のカンファレンスで次のような内容を議論しています。



**基本理念** 「至誠と愛」の心を持って、医療を誠実に行之、地域、社会に貢献いたします

- 基本方針**
1. 全職員のチームワークにより、患者さま中心の医療を提供いたします。
  2. 安全で質の高い医療を提供いたします。
  3. 地域医療への貢献と連携の推進を行います。
  4. 医療の進展に沿うべく絶えず努力をいたします。
  5. 情報を開示し、医療の透明性に努めます。
  6. 健全で安定した医療経営に努めます。



### ①低栄養・食欲不振の原因追究

低栄養や食欲不振は原疾患と大きな関わりがあることが多く、原疾患が治療されないと改善されないために簡単ではありませんが、食欲不振については特定の薬剤や便秘あるいは疼痛管理の不良、患者様の嗜好の問題に起因することが時にあります。

### ②最適な栄養対策の提案

それぞれの疾患ごとに行います。例えば腎機能障害の患者様にはタンパク質を制限しつつ脂肪などで必要なカロリーを満たすようにします。また、経口摂取が困難な方には経鼻胃管を使用した経腸栄養の使用なども検討します。点滴からの栄養よりは腸から吸収される栄養の方がはるかに生理的なことから、可能な限り腸を使用した栄養対策を検討します。経腸栄養は各種病態に対応した栄養剤が開発されており、それぞれの患者にふさわしい栄養剤を選択します。

### ③絶食期間の短縮の提案

治療に影響のない範囲で検討します。絶食のデメリットがメリットを上回ると思われる事例は時にみられます。特に高齢者においては長期の絶食により嚥下機能の低下や ADL の低下などが起こりやすく、早期の経口摂取開始は強く意識する必要があると思われま

す。James Lawder Gamble さんの『水と電解質』の文献報告によれば、何も栄養が供給されない飢餓状態では体タンパクの異化により6日間で400gのタンパク質(筋肉量換算でおおよそ2kg!)が喪失するそうです。ところが1日に100g(5%ブドウ糖液 2000ml)の糖質を投与するとタンパク質喪失は約半分に抑えられるそうです。この報告は、まったく栄養が供給されない状況がいかに危険であるかを示していると同時に、少量の糖分投与でダメージがかなり抑えられることを示していると思います。

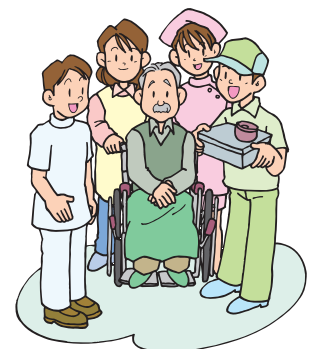
NST の活動は、リハビリや褥瘡ケアの領域とも密接につながっているために各担当者と連携しながらその活動にあたっております。

最後に・・・

NST の活動は全国的にかなり普及してきておりますが、医療従事者の間で栄養対策の重要性が広く認識されているとはまだまだ言えないのが現状かと思われま

す。院内で栄養対策に関心のあるスタッフを増やしていくことも我々の重要ミッションと考えており、その一環として定期的にスタッフを院外 NST 研修に派遣しております。

未熟な点も多々ございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



入院中“食欲がない”、“痩せてきた”、“飲み込みが悪い”など何か気になる症状があれば、いつでも私達にご相談下さい。

《2023年11月現在 NST メンバー》

飯塚（管理栄養士）、田原（管理栄養士）、森（薬剤師）、秋元（臨床検査技師）、日高（言語聴覚士）、細井（看護師）、中川（看護師）、力丸（看護師）、佐藤（消化器外科医師）の9名が担当しております。



■ プロフィール ■

さとう たくや  
佐藤 拓也

金沢大学医学部卒業、医学博士

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医・  
消化器がん外科治療認定医、  
日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

## みんなの栄養学

～「食べること、栄養を摂ること」～



栄養管理室 飯塚 祐子

私は幼少期に6年ほど、海外で生活をしていました。その時、母に病気が見つかり入院、手術は無事に成功、退院を目指す事となりましたが、病院食が食べられず、なかなか退院できない日々を過ごしていました。

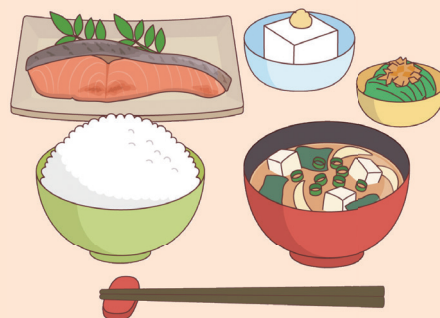
入院中の食事が摂れない母を心配した父は、母の待つ病室へ自宅で作ったお味噌汁を水筒につめ持参し、水筒から注がれた湯気の上がるお味噌汁を口にしたら母は「ああ美味しい、ありがとう」と笑ってくれたこと、「1杯のお味噌汁が病気の人をこんなに元気にできるんだ!」と感動したのを幼いながらも鮮明に覚えています。

このエピソードが、管理栄養士を目指す第一歩となった出来事です。

外科の佐藤先生が、今回 NST（多職種で構成される栄養サポートチーム）について執筆してくださっています。人は加齢や病気にかかることで、「食べること」「栄養を摂ること」を突然制限されたり、食べられなくなることがあります。

私たち管理栄養士は、栄養相談、また様々な視点から「食べること」「栄養を摂ること（栄養チューブから補給する栄養剤や点滴の内容も含まれます）」を検討する“食”を考えるスペシャリストです!

ご自身やご家族の「食べること」「栄養を摂ること」への不安、食事について話を聞いてみたいと思われた時には、お気軽に主治医の先生や看護師にご相談頂ければ、私たち管理栄養士へと繋がります。栄養管理室は患者さん一人ひとりの“食”に寄り添う存在として、お役に立ちたいと考えています。お気軽にお声掛けください。



## ～もう悩まない！女性の頻尿・尿失禁～市民公開講座開催のご報告

今回の市民公開講座では、上記をテーマに講演、体操、ディスカッションをさせて頂きました。ご参加頂きました市民の皆様には心より感謝申し上げます。

▶日時：2023年11月4日(土) 14:00～15:30  
会場：至誠会看護専門学校 4階講堂

### 講演内容

#### ①「もう悩まない！女性の頻尿・尿失禁」

講師：東京女子医科大学附属足立医療センター  
骨盤底機能再建診療部  
泌尿器科 教授 巴 ひかる先生

#### ②骨盤底筋体操

講師：成城せとぐちクリニック院長  
至誠会第二病院  
泌尿器科非常勤講師 瀬戸口 志保先生

#### ③ディスカッション

座長：至誠会第二病院  
泌尿器科部長 奥田 比佐志先生  
巴 ひかる先生、瀬戸口 志保先生



巴 ひかる先生



会場風景



ディスカッション



骨盤底筋体操

### ◆ 診療科

- 内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 神経内科
- 糖尿病内科
- 外科
- 整形外科
- 人工関節センター(整形外科)
- 足の外科センター(整形外科)
- 泌尿器科
- 眼科
- 脳神経外科
- 産婦人科
- 放射線科
- 麻酔科(ペインクリニック)

月初めご来院時には  
保険証の確認をさせて頂いております。

### 病院専用バス時刻表

- 土曜日は午前中のみ運行します。
- 日曜祭日は休診につき運休です。
- ○印は土曜日の最終便です。

H30.4.1付

時間	京王線 仙川駅	
	病院 発	仙川駅 発
8時	20 40	3 30 45
9時	5 25 45	15 35 55
10時	5 25 45	15 35 55
11時	5 25 45	15 35 55
12時	5 25 45	15 35 55
13時	5 (25) 45	(15) 35 55
14時	5 25 45	15 35 55
15時	5 25 45	15 35 55
16時	5 25 45	15 35

時間	小田急線 成城学園前駅	
	病院 発	成城学園前駅 発
8時	20	0 35
9時	10 40	20 50
10時	10 40	20 50
11時	10 40	20 50
12時	10 40	20 50
13時	10 (40)	(20) 50
14時	10 40	20 50
15時	10 40	20 50
16時	10 40	20

